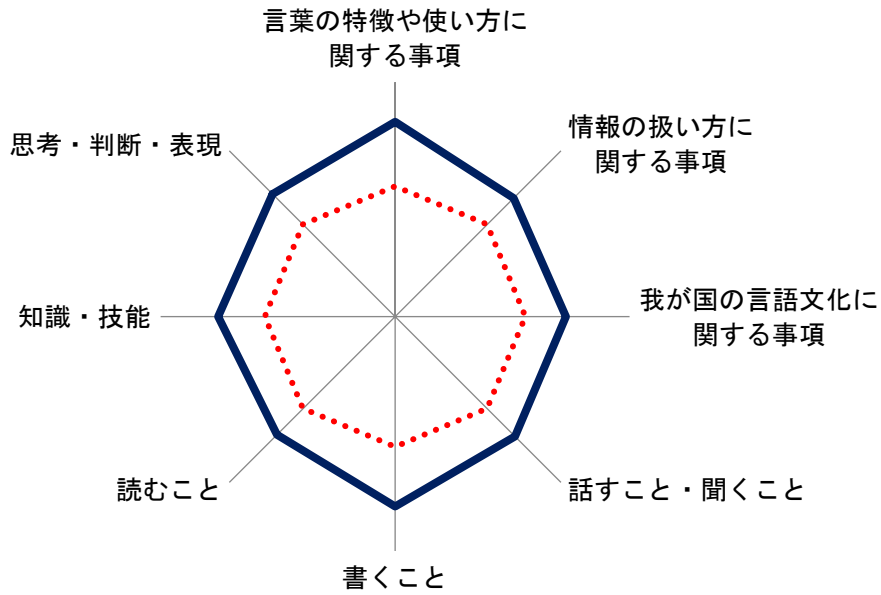


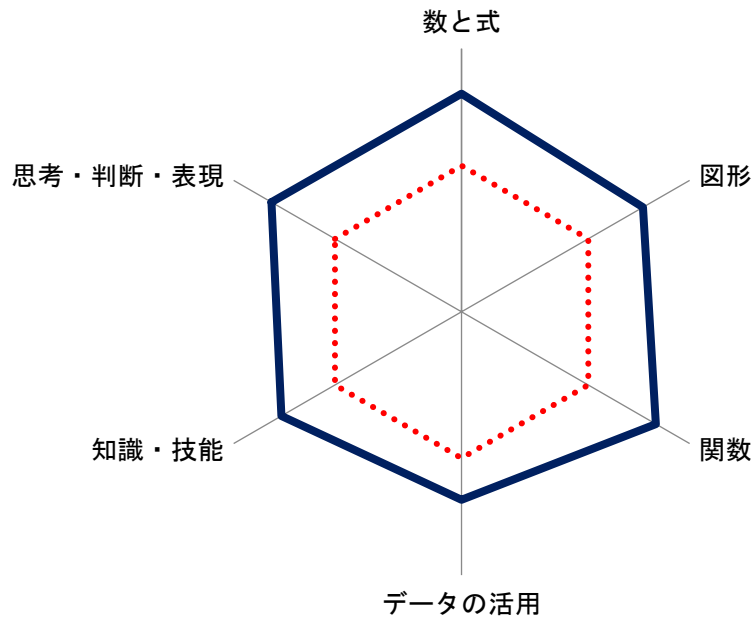
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 中等平均
..... 全国平均

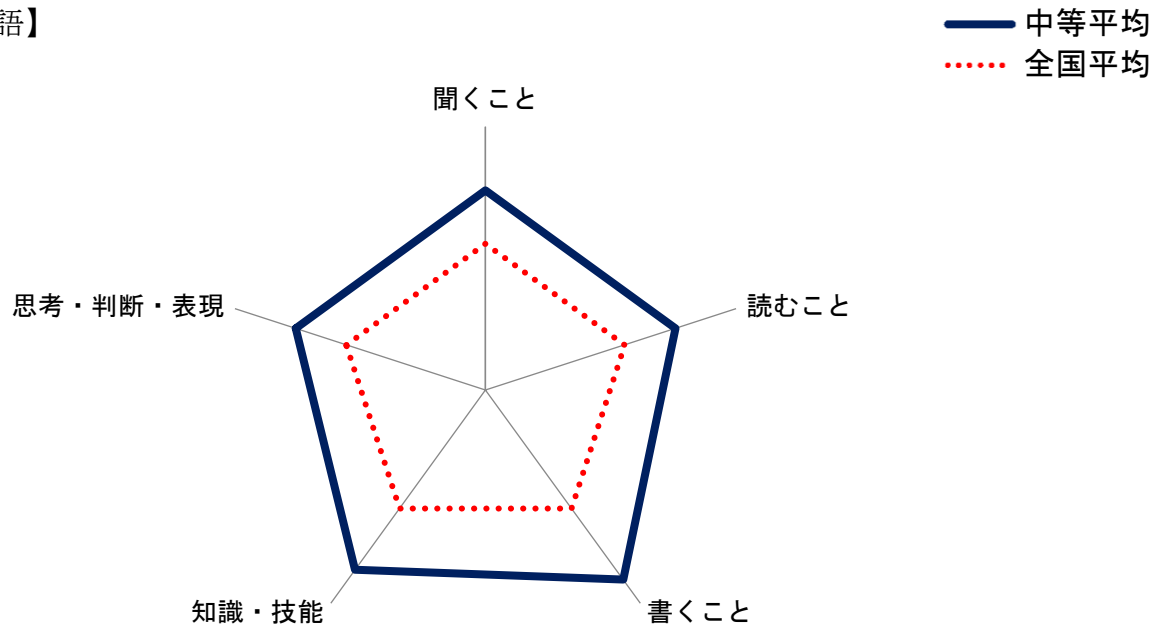


【数学】

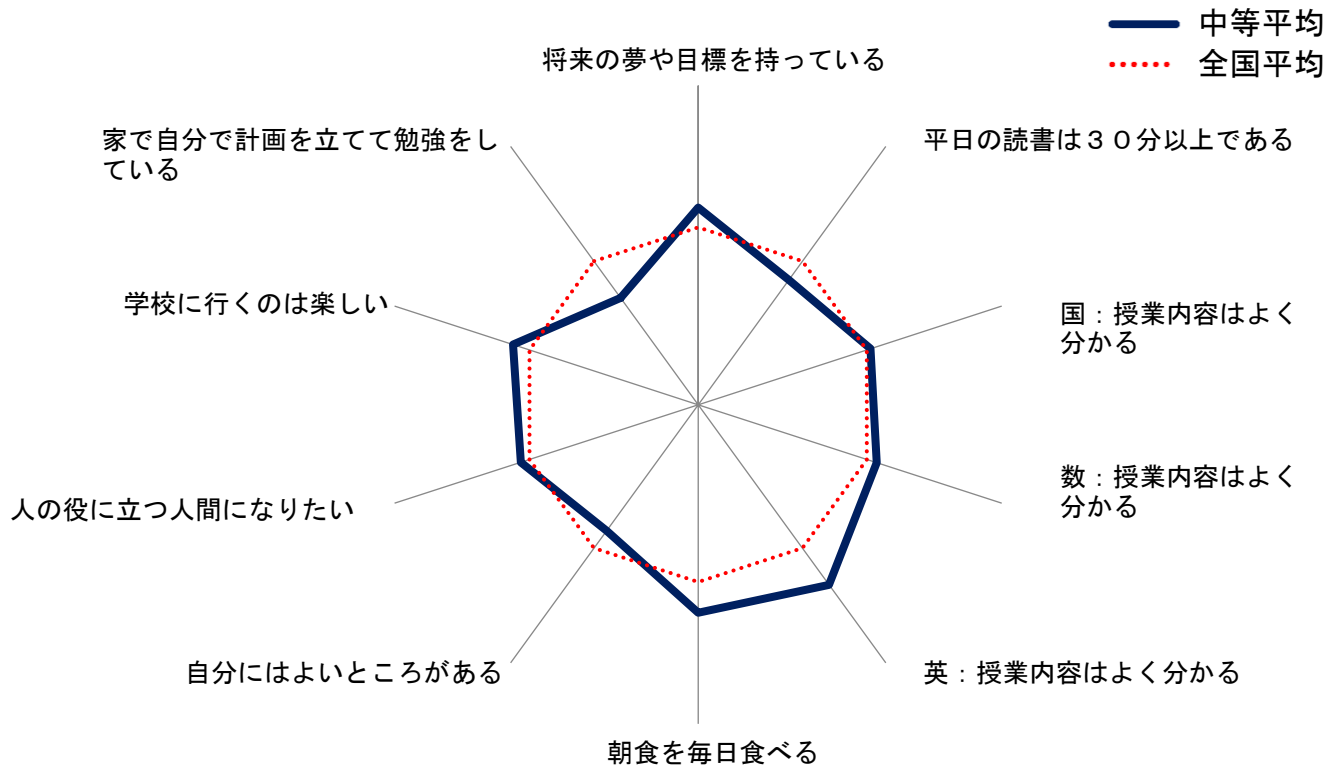


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【英語】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、数学、英語ともに全ての項目が全国平均を上回っている。特に、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」、数学の「関数」、英語の「書くこと」などの項目が良好である。引き続き、ICTを有効に活用した生徒一人一人の実態に応じたきめの細かな指導の推進が必要である。

生徒質問紙調査では、国語、数学、英語ともに、「授業内容はよく分かる」の項目が全国平均を上回っており、生徒の実態に即した授業改善が推進されていることがうかがえる。一方、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」「平日の読書は30分以上である」「自分にはよいところがある」の項目が全国平均を下回っており、主体的に学習に取り組む態度や読書に親しむ態度の育成に向けた取組とともに、自己肯定感を高める教育の推進が必要である。